

1. 名蔵湾保護水面の概要

• 指定年月日

昭和50年9月1日、農林省告示874号

• 指定区域

次に掲げる基点1、基点2及び点アの各点を順次結んだ線と最大高潮時海岸線とに囲まれた区域

基点1：沖縄県石垣市宇崎枝屋良部556番地の1に知事が建設した標柱の位置

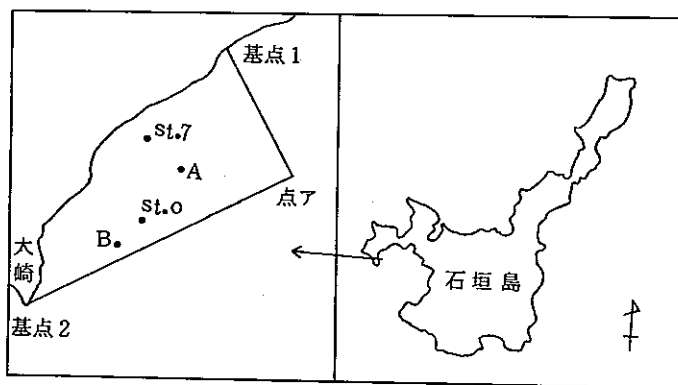
基点2：沖縄県石垣市宇崎枝屋良部556の1の大崎に知事が建設した標柱の位置

点ア：基点1から150度700メートルの点

面積 68 ha

• 増殖対象種

アオリイカ、ハマフエフキ、アイゴ類、ブダイ類



St. O:水質調査地点 St. 7: 水質調査、植物調査、底生動物調査、漁獲試験地点
A: ヒューム管魚礁、フィルム魚礁、ポリコン魚礁投入地点 B: フィルム魚礁投入地点

図 - 1 保護水面区域と調査地点

2. 植物調査

(1) 海藻相

保護水面内に設けた定線（図1）の両側50cm以内で採集した藻類を表-1に示す。調査は4回行ない、1回の採集時間は素潜りで2時間程度である。汀線から30m位までは干潮時に干出し、藻場は50mから155mまであり、それ以深は砂地でソフトコーラルが点在している。出現種数は、藍藻7種、緑藻30種、褐藻11種、紅藻36種の計84種であった。季節的な消息が明らかなものとして、夏季に繁茂するウスユキウチワ、ラップモク（共に褐藻）、冬季に繁茂する緑藻のヒトエグサの一種、アオノリの一種、褐藻のタワラガタシオミドロ、オキナワモズク、フクロノリ、カゴメノリ、ホンダワラの一種、カタオゴノリが挙げられる。その他のものは周年みられ、特に緑藻はほとんど変化がみられない。周年現存量の大きいものには、ヤセガタモツレミルとマクリがある。